

報道関係者各位

2022年5月27日

株式会社イード

(東証グロース：コード 6038)

**自動車ニュースサイト「レスポンス」が大幅リニューアル
ビジネス向けセミナーやレポート、会員コンテンツを拡充**

株式会社イード（本社：東京都中野区、代表取締役：宮川 洋）は、自動車総合ニュースサイト「レスポンス」を5月30日に大幅リニューアルし、今後は「自動車総合情報プラットフォーム」として、引き続きビジネスユーザー、コンシューマ双方の皆様にとって有益なコンテンツやサービスの提供を目指してまいります。

■リニューアルのねらい

100年に一度と言われる自動車業界の大変革、そしてモビリティの新世紀に向けて、自動車総合ニュースサイト「レスポンス」（<https://response.jp/>）は2022年5月30日に大きく進化します。

ニュースサイトとして最新の自動車関連情報を「いち早く、正確に」伝えるだけでなく、より業界ビジネスに特化したコンテンツ、そして多様化するカーライフをサポートするコンテンツを拡充することで、レスポンスは自動車総合ニュースサイトから、「自動車総合情報プラットフォーム」へと大きく進化します。

ビジネスコンテンツの拡充としては、自動車業界向け BtoB 情報サイト「mirai.Response」（<https://mirai.response.jp/>）のサービス、会員システムをレスポンスに統合。人気のビジネスセミナーや専門レポートを、レスポンスサイト上で活用いただくことができます。

さらにカーライフコンテンツの拡充として、カスタムやカーオーディオの専門サイト「Push On! MY CARLIFE」（<https://www.mycar-life.com/>）とのコンテンツ連携を強化。より楽しく、ためになるコンテンツの配信だけでなく、ファンミーティングやリアルイベントの開催も計画しています。

■ 新しいレスポンスの3つの柱

- ・トラステッド・ニュース（早くて正確で知的に面白い）
- ・ビジネスにフィット（仕事に使える、仕事に生きる）
- ・最先端テクノロジー（ゼロカーボン、EV、自動運転、etc.）

新しい自動車を含むモビリティの新世紀に向けて、大きく変動する自動車を中心とする産業の動きを、知的なエンターテインメントとビジネスにも使える深みのあるニュースで伝えていきます。

■注目コンテンツ

新しいレスポンスは、自動車やモビリティ関連のニュースを自分の仕事に活かしていきたいと考えるビジネスユーザーと、自動車に強い興味関心を持つファン（コンシューマ）との双方に向けたコンテンツ、サービス、イベントを提供していきます。

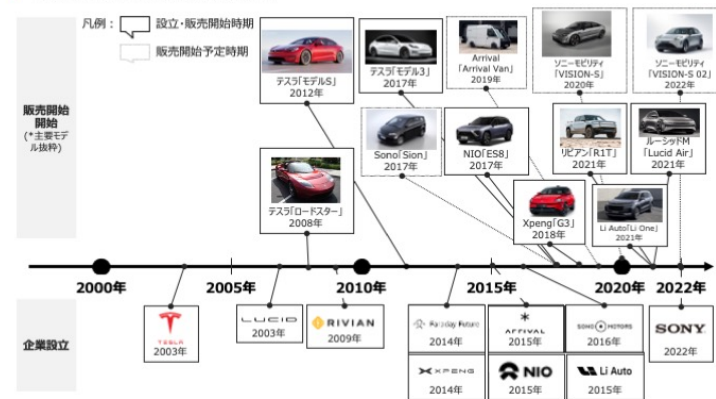


【ビジネス向け】

- コンテンツ：無料ビジネス記事、有料プレミアムビジネス記事、キーマンインタビュー記事
- サービス：市場調査レポート（有料）
- イベント：有料セミナー、無料セミナー

エグゼクティブサマリ

■ 各社設立・EV出荷開始の時系列整理



■ 各メーカー特徴

日本	ソニーモビリティ	<ul style="list-style-type: none"> 2022年4月に設立された国内新興EVメーカー 親会社のソニーグループは2022年3月、ホンダと次世代モビリティ/モビリティサービスにおける戦略提携を発表
米国	テスラ	<ul style="list-style-type: none"> 2003年に米国で創業した世界最大のEVメーカー 高いブランド力やイーロン・マスクCEOのガスマス性から新興EVメーカーの話題の中心に位置する
	リビアン ルーシッド・グループ	<ul style="list-style-type: none"> 全自動車メーカーの中でNo.12の時価総額を誇る新興EVメーカー 「テスラのライバル」と呼ばれ、強固な製品需要・企業経営・量産体制を整えた米国発の主力プレーヤー 元テスラの開発担当者が率いる、ポスト・ラグジュアリーEVメーカー フラッグシップモデル「Lucid Air」は出荷開始済みだが量産化はこれから、'24年黒字化に向け生産能力拡張中
欧州	アライバル	<ul style="list-style-type: none"> 2015年に創業した、英国の新興EVメーカー 商用バンおよび配車サービス用途のEVとして各社から受注を獲得しており、車両コストの低さに強みを持つ
	ソノ・モーターズ	<ul style="list-style-type: none"> ドイツの新興EVメーカー 太陽光パネルで充電し走行可能なミニバン型EVを開発、2023年以降に量産開始予定
中国	NIO	<ul style="list-style-type: none"> 中国最大の新興EVメーカー、中国市場にとどまらず、徐々にグローバルでシェアを拡大中 EVだけでなく自動運転や音声AIエージェントを含む次世代HMIにも注力
	Li Auto	<ul style="list-style-type: none"> 高い収益構造に強みを持つ中国のトップ新興EVメーカー 現状ラインナップは2車種のみだが、レンジエクステンダーの採用により両モデルで航続距離1000km以上を実現
	XPeng	<ul style="list-style-type: none"> 車両価格200万円台へのモデルを複数ラインナップし、強い価格競争力を持つ 2022年以降は欧州市場(スウェーデン・デンマーク・オランダ)に進出予定で、着々とグローバル展開を進める

出所：各種公開情報

新興EVメーカー調査 | IID, Inc.

【コンシューマ向け】

コンテンツ：試乗記、カスタム HOW TO 記事、EV 特集

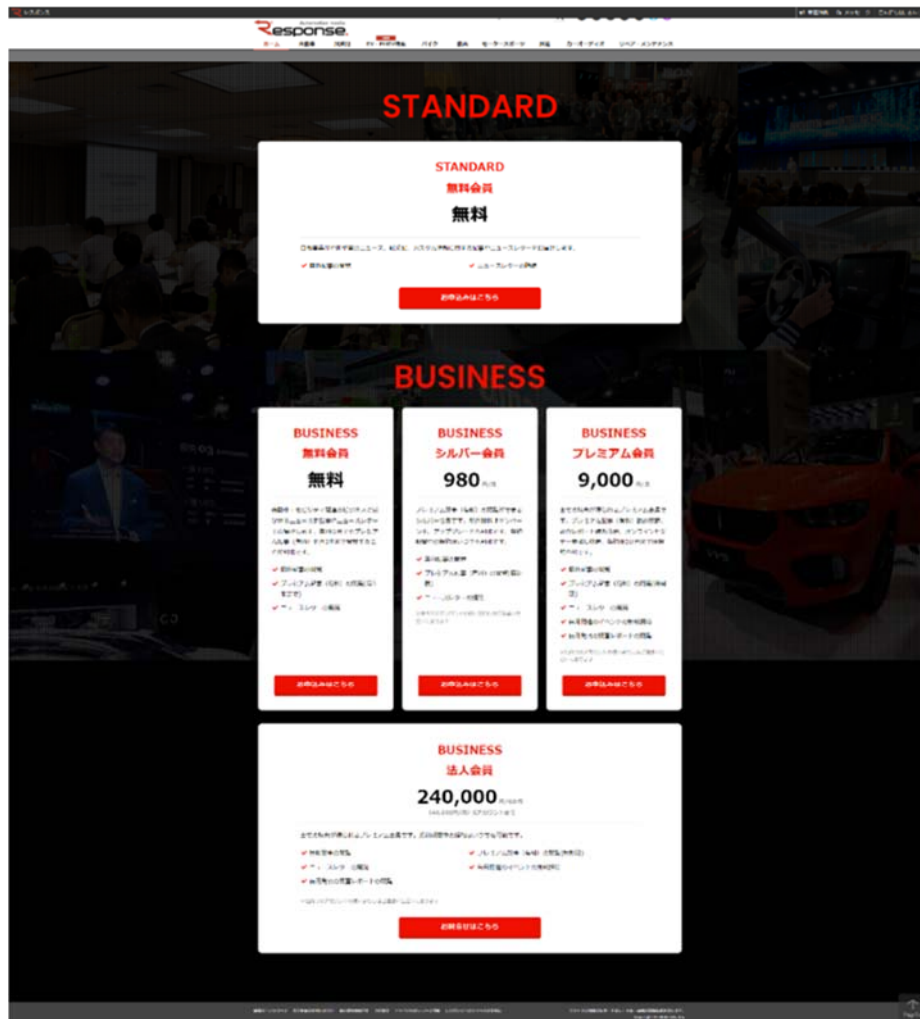
イベント：ファンミーティング、EV 試乗会など



■ 会員プラン

従来の「mirai.Response」会員アカウント、および会員向けサービスをすべてレスポンスへ移行、統合します。自動車とモビリティに真摯な関心を抱く読者/ユーザーの皆様に向けて、多彩な会員プランを提供します。従来通り、非会員の方でもレスポンスの多くのニュースや企画コンテンツを

無料でお楽しみ頂けますが、無料会員、有料会員に登録していただくことで、さらに満足度の高いコンテンツやサービスをご利用頂くことができます。



■編集長コメント

「全世界的な EV への急速な転換と自動運転の進化。そして、電動キックボードからスマートシティにまで広がる MaaS（Mobility as a Service）を巡る産業界から行政にまで広がるムーブメント。自動車業界は 20 世紀初頭のガソリン車量産開始以来の大転換期にあります。

2000 年に日本初の本格的自動車総合ニュースサイト「オートアスキー」としてスタートした「レスポンス」は、Web ならではの「速報性」と、人の命を乗せて走る自動車をテーマとして扱うに欠かせない「信頼性」の 2 つの面で、長らく自動車メディア業界をリードしてきました。

そして 2022 年、自動車業界の大きな変革を前に「レスポンス」は自動車総合ニュースサイトから、「自動車総合情報プラットフォーム」へと大きく進化します。自動車メディア業界の一端としてではなく、自

自動車業界の一員として自動車産業を支える役目を果たし、クルマや新たなモビリティを通じて人が幸せになれる、そんな世界を作るための「人」と「クルマ」の架け橋になればと考えています。

進化し続けるレスポンスに、どうぞご期待ください」



レスポンス編集長 宮崎壮人

■レスポンスについて

20年以上に渡って“いま”のクルマを商品・ビジネス・社会の3つの視点で立体的に捉え、さらにIT・デザイン・環境の面からも付加価値創造の手助けをすることをモットーとして、日々情報発信を続ける日本最大級の自動車総合ニュースサイトです。国内のみならず、自動車関連のグローバルな情報を、業界の最前線からいち早く読者にお届けしています。

URL : <https://response.jp/>

■本リリースに関するお問合せ : 広報担当

URL : https://www.iid.co.jp/contact/pr_contact.html

株式会社イード 〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー17階

<https://www.iid.co.jp/>